

御坊市スケートパーク整備基本方針

令和6年6月

御坊市教育委員会

1 整備の背景

(1) アーバンスポーツに対する気運の高まり

スケートボードに代表されるアーバンスポーツは、従来のスポーツという側面だけでなく、遊び、カルチャーの延長線上として若者を中心に人気があり、青少年の健全な育成支援と国民の健康増進に貢献することを目的にスポーツ庁、一般社団法人日本アーバンスポーツ支援協議会などが主体となってアーバンスポーツを推進している。また、若者文化と融合し地域の活性化や魅力のあるまちづくりを推進することも可能である。

スケートボードは、東京2020オリンピックから採用され、2024年のパリ大会までは追加競技、2028年ロサンゼルス大会は実施競技（正式競技）となることが決定している。また、和歌山県在住の四十住さくら選手が東京オリンピック女子パークで優勝するなどの活躍もあり、本市においても若い世代を中心に更に人気が高まっていくことが予想される。

(2) 整備の必要性

本市をはじめ日高郡内においては、スケートボード場（スケートパーク）が整備されていない状況である。加えて、スケートボードは本市の体育協会加盟27団体の中で、唯一、競技（練習）場所が無い種目となっている。

そのような中、令和4年8月に御坊市スケートボード協会から、市内約3,700人、郡内約3,800人、その他県内外から約4,100人、計11,655人の署名を添えて要望を受けスケートパーク整備に対する期待度・関心度が高いことが示されている。

【参考】

① スケートパーク設置状況

公共スケートパーク

日本全国：475施設（2024年5月末現在：日本スケートパーク協会）

御坊市及び日高郡内：0施設

* スケートボードは、本市の体育協会加盟27団体の中で唯一、競技・練習場所がない。

② 第5次御坊市総合計画

「人と自然が調和し、笑顔と活力あふれる御坊」

～みんなで創る、安全・安心のもとで健康でいきいきと暮らせるまち～

教育・文化の振興～ 心豊かな人を育み、明るく、楽しく暮らせるまち～

生涯スポーツの振興

基本方針：すべての市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくり

↓

スポーツ環境の充実

スポーツ・レクリエーション施設を安全に利用できる環境を確保するとともに、利用者のニーズに対応した施設整備に努めます。

2 整備により期待される効果

- オリンピック競技になるなど人気が高まっているアーバンスポーツを本格的にできるスケートパークを県中部地域で初めて整備することで御坊市及び日高地域のスポーツ振興が図られる。
- 市スケートボード協会と協議を重ねてその後の運営にも協力してもらうなど、スポーツを「する・みる・ささえる」という様々な形での参画を通じて、より多くの人々がスポーツの楽しさや喜びを感じる「スポーツ文化」の醸成が図られる。
また、市スケートボード協会と協力して初心者向け体験教室・スクーリングを行っていくことで、スポーツのすそ野拡大も図られる。
- アーバンスポーツは、青少年のスポーツ離れが危惧される中、従来のスポーツや体育の枠組みに縛られない遊び感覚の体験、活動として、青少年を中心に広がりを見せている。従来の勝負だけにこだわらない、楽しみながら互いに最高のパフォーマンスを追求するスポーツマンシップの文化を大切にしている。御坊、日高地域では、練習できる場所がなく、締め出された状態であったが、青少年が主体的にスポーツに参加し、安全に気兼ねなくのびのびと楽しめる場（スケートパーク）を提供することで、青少年が地域の多様な人たちと関わり、「ささえ・ささえられる」経験をすることは青少年を大きく成長させることができる。
- アーバンスポーツは、青少年を引き寄せ（「する」「ささえる」）、そこで交流に繋がり、本市の魅力や知名度の向上、交流人口・関係人口の増加が見込める。
また、観戦（「みる」）することでスポーツ振興と地域振興、活性化の好循環が生まれる。
- 本市体育協会加盟団体の全種目の競技（練習）場所が確保できる。
- 総合運動公園内に他にはない特徴のあるスケートパークを整備することで、公園の魅力や知名度が一層向上し、更なる賑わいが見込める。
- 市外から約7,900人の署名がきていることを踏まえると、利用者の交流が生まれ、それに伴いSNSをはじめ様々な交流に繋がり、本市の魅力や知名度の向上、交流人口、関係人口の増加が見込める。

3 これまでの経緯

○御坊市スケートボード協会

・設立

令和4年5月

・陳情署名提出

令和4年8月25日

市長・議長に対してスケートパーク建設を求める陳情署名提出

11,655筆（市内3,714筆、郡内3,818筆、その他県内3,644筆、県外479筆）

・体験教室の開催

令和4年9月11日（日）市民総合体育大会参加 初心者向け21人、経験者向け18人

令和5年7月22日（土）ほんまち商店街 納涼ふれあい祭り 31人参加
令和6年2月 4日（日）体験教室（市立体育館駐車場） 18人参加 延べ26人
令和6年5月26日（日）体験教室（市立体育館駐車場） 30人参加 延べ54人

○市と御坊市スケートボード協会との協議

令和5年7月14日（金） 現状の報告
令和5年8月22日（火） 整備場所、内容、今後の進め方等について
令和5年9月26日（火） 利用時間、料金、管理運営等について
令和5年10月31日（火） 日本スケートボード協会アドバイザー参加
令和5年12月26日（火） 日本スケートボード協会アドバイザー参加
令和6年1月16日（火） 日本スケートボード協会アドバイザー参加
令和6年3月20日（火） 日本スケートボード協会アドバイザー参加
令和6年4月14日（日） 現地視察、日本スケートボード協会アドバイザー参加
令和6年4月23日（火） 施設の運営、ルール、活用について
令和6年5月14日（火） 日本スケートボード協会アドバイザー参加
令和6年6月11日（火） 日本スケートボード協会アドバイザー参加

4 整備コンセプト

県中部地域の中心都市である本市のスポーツ振興とともに、スポーツを通じた賑わいづくりを目的として、ひいては地域振興に繋げていくことを目指してスケートボード場を中心としたスケートパークを整備する。

コンセプト

魅力があり使いやすく愛されるスケートパーク

方針①

だれでも使えるスケートパーク

○市民・市外、大人・子どもを問わず、だれでも気軽に利用でき、自由に楽しむことのできるスケートパーク

方針②

魅力があり人が集まる楽しいスケートパーク

○他にはない特徴・魅力があり、イベント・教室等が開催できる場所として整備し、地域の活性化につながるスケートパーク

方針③

地域に愛されるスケートパーク

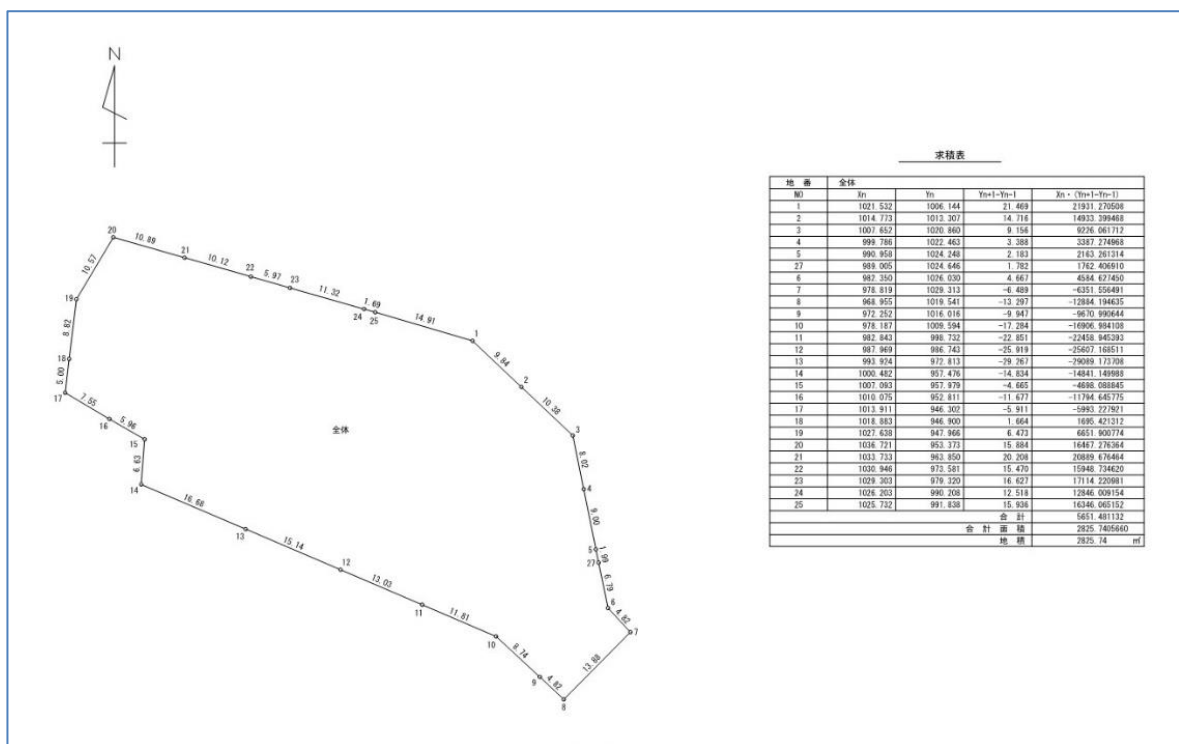
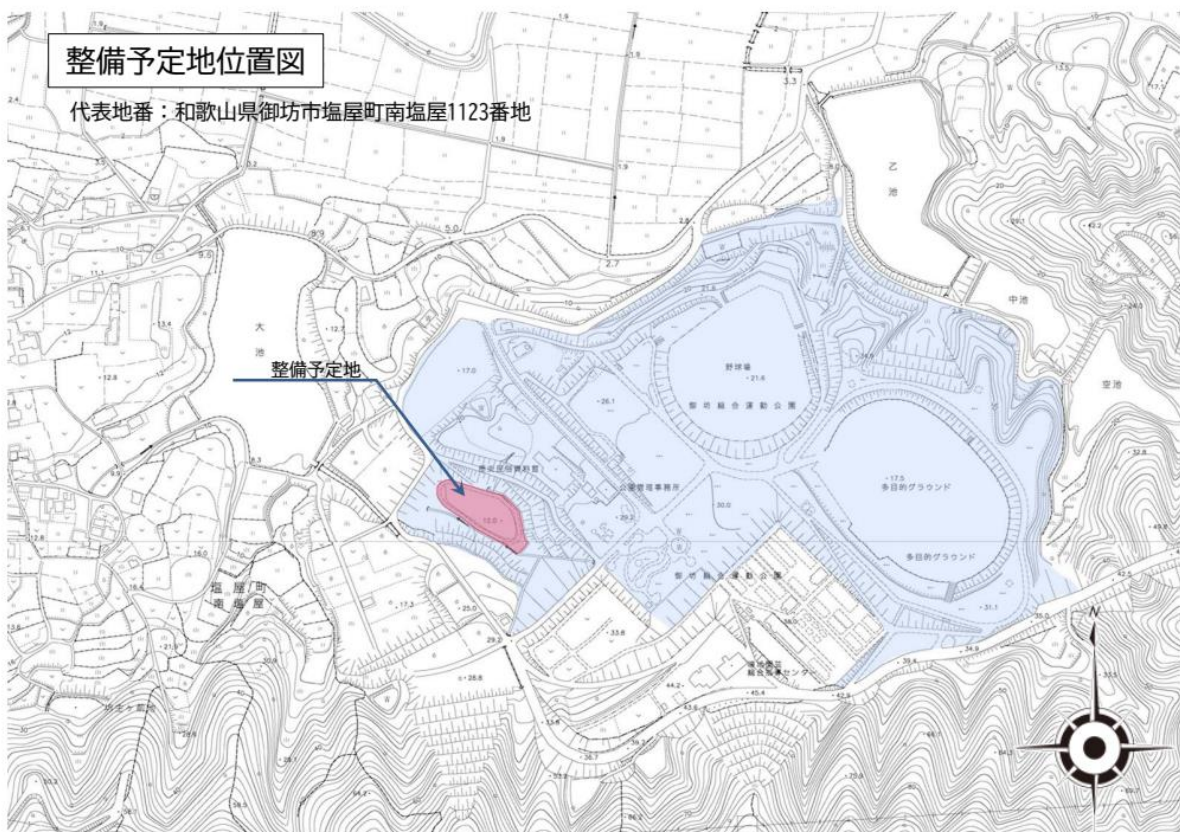
○行政と市民との協働による整備を行い、完成後も地域から愛されるスケートパーク

○御坊総合運動公園や周辺環境に溶け込み、安心して利用できるスケートパーク

(1)整備場所

整備予定地位置図

代表地番：和歌山県御坊市塩屋町南塩屋1123番地





(2)整備スケジュール（予定）

令和6年度	整備基本計画
令和7年度	実施設計、工事
令和8年度	供用開始